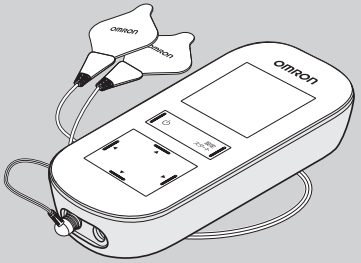
添付文書

取扱説明書

オムロン 温熱低周波治療器

HV-F311
HV-F312
HV-F313
HV-F314

Heat Pulse Massager



■このたびは、オムロン製品をお買い上げいただきましてありがとうございました。

■本書はいつもお手元においてご使用ください。

■本書は品質保証書を兼ねています。紛失しないように保管してください。

■本書に記載しているイラストはイメージ図です。

安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

All for Healthcare

OMRON

目次

はじめに

温熱低周波治療器の使い方 ····· 2
免責事項／安全上のご注意 ····· 4
製品の構成 ····· 11
各部の名前と働き ····· 12

準備する

充電をする ····· 14
温熱導子コードを接続する ···· 16
粘着パッドを貼る ····· 17
温熱パッドを貼る ····· 18
温熱パッドを体の部位に貼る ····· 19

治療する

治療内容について ····· 22
「温治療Pro」／
「温治療」コースを使う ····· 23
「低周波」コースを使う ····· 26
治療中に設定内容を変更する ·· 28

治療が終わったら

片付ける ····· 29
お手入れと保管 ····· 31

お知らせ

製品を廃棄するとき ····· 33

困ったときに・保証など

豆知識 ····· 35
おかしいな？と思ったら ····· 39
仕様 ····· 42
別売品 ····· 43
保証規定／品質保証書 ···· 裏表紙

温熱低周波治療器の使い方

本製品は、このような流れで使います。

1 充電をする

本体を充電する（→ **14** ～ **15** ページ）



充電中は本体を使用することができません。
充電が完了したら、プラグを抜いてください。

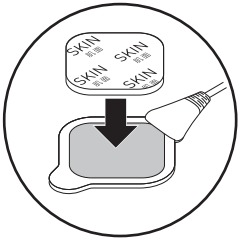
2 接続をする

温熱導子コードを本体に接続する
（→ **16** ページ）



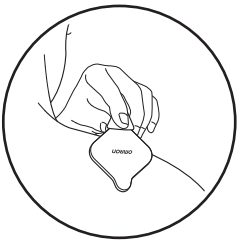
3 粘着パッドを貼る

粘着パッドを
温熱導子電極に貼る
（→ 17 ページ）



4 温熱パッドを貼る

温熱パッドを
体の部位に貼る
（→ 18 ～ 21 ページ）



5 治療をする

治療内容を選び、開始する
（→ 22 ～ 28 ページ）

- 3 つの治療コースから選ぶ（→ 23、26ページ）
- 10 の低周波モードから選ぶ（→ 24、26ページ）
- 2 つの温度調節から選ぶ（→ 23ページ）
  （温熱コースを選択した場合のみ選べます）
- 低周波治療の強さを設定（→ 25、27ページ）

免責事項／安全上のご注意

●免責事項について

純正品（粘着パッド:HV-PAD-3）以外の粘着パッドを使用しないでください。

- 安全上の問題につながる恐れがあります。
- 機器に不具合が生じる可能性があります。
- 純正品以外を使用された場合の不具合や事故につきましては、当社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

●ここに示した内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や、他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。

●表示と意味は次のようになっています。

警告サイン	内　容
⚠危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が、切迫して生じることが想定される内容を示します。
⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害*の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。

図記号の例	
	△記号は注意（警告・危険を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに文章や絵で示します。 （左図は、“感電注意”）
	●記号は強制（必ず守ること）を示します。 （左図は、“必ず守る”）
	⃠記号は禁止（してはいけないこと）を示します。 （左図は、“禁止”）

⚠危険

使用にあたって

下記のような医療機器との併用は、絶対しないでください。 (1)ペースメーカーなどの植込み型医療機器 (2)人工心肺などの生命維持用医療機器 (3)心電計などの装着型医療機器 • 誤動作により、生命に著しい障害をもたらす原因になります。	

⚠警告

使用にあたって

次の人は、医師と相談してご使用ください。
(1) 医師の治療を受けている人や、特に体に異常を感じている人 (2) 悪性腫瘍のある人 (3) 心臓・脳神経に異常のある人 (4) 妊娠している人、出産直後の人 (5) 体温38℃以上（有熱期）の人（例1：急性発症症状（倦怠感、悪寒、血圧変動など）の強い時期　例2：衰弱している場合）(6) 感染症疾患の人 (7) 皮膚知覚障害、または皮膚に異常のある人 (8) 脊椎の骨折、捻挫、肉離れなど、急性（疼痛性）疾患の人 (9) 安静を必要とする人 (10) 薬を服用している人 (11) 血圧に異常のある人 (12) 四肢の不自由な人 (13) 自分で意思表示できない人 (14) 糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人 (15) 低温状態の人 (16) 血行障害のある人 (17) しばらく使用しても、効果が表れない人 (18) 粘着パッドが肌にあわない人 (19) 温度感覚喪失が認められる人 (20) 低温やけどをしたことがある人
- 事故、やけど、低温やけどや体調不良を起こす恐れがあります。

必ず守る

温熱治療（温治療Pro・温治療）をする場合は、次のことを守ってください。
■同一カ所で30分以上使用しないでください。
■温熱パッドの上をタオルなどで覆い、布団の中で使用するなど熱のこもる状態で使用しないでください。
■温熱パッドを貼りつけた部位を押さえつけないでください。
■温熱治療を5分ほどしてもあたたかく感じないときは、すぐに使用を中止してください。
■熱いと感じたら温熱パッドを外してください。
- 事故、やけど、低温やけどや体調不良を起こす恐れがあります。

電池の液が目に入ったら放置しないでください。すぐに多量の水で洗い流し、医師の指導を受けてください。

自分で意志表示ができない人や補助を必要とする人には、1人で使用させないでください。
- 事故やけが、体調不良の原因になります。

次の人は、本製品を使用しないでください。
(1) 乳幼児や身体の自由が利かない人 (2) 睡眠薬等を服用した人や飲酒後の人
- 事故、やけど、低温やけどや体調不良を起こす原因になります。

寝ているときには使用しないでください。
- 本体が故障する原因になります。
- 温熱パッドが思わぬところに貼りついて体調不良を起こす原因になります。
- やけどや低温やけどの原因になります。

禁止

心臓の近く、首から上、頭部、口中や陰部、皮膚疾患部、左右の足裏の同時治療などには使用しないでください。また、内臓を挟むようにして使用しないでください。
- 事故や体調不良を起こす恐れがあります。

免責事項／安全上のご注意（つづき）

⚠警告

使用にあたって

本製品は一人用です。複数の人で同時に使用しないでください。
- 事故やトラブルにつながる恐れがあります。

他の治療器や本製品の2台以上の同時使用、塗布剤（スプレー缶含む）との併用はしないでください。
- 気分が悪くなるなど、体調不良を起こす恐れがあります。
- 低温やけどの原因になります。

自動車などの運転や危険な動作をともなう作業をしながら使用しないでください。
- 強い刺激を受けると事故やトラブルにつながる恐れがあります。

製品および充電池を火の中へ投入したり、加熱したりしないでください。
- 破裂してけがなどの原因になります。
- 火災や事故の原因になります。



治療以外の目的には使用しないでください。
- 事故やトラブル、故障につながる恐れがあります。

専用の温熱導子コード、ACアダプタ以外は使用しないでください。また、他の製品に使用しないでください。
- やけど、加熱、ショートなどによる事故、火災、トラブル、故障につながる原因になります。

温熱導子コードプラグは、本体温熱導子コードプラグ差込口以外には接続しないでください。
- 感電や事故の原因になります。

修理、改造しないでください。
- 発火や故障、事故の原因になります。

廃棄のとき以外は分解しないでください。
- 故障や事故の原因になります。



温熱パッド・粘着パッドの取り扱いについて

温熱導子電極に専用の粘着パッドを必ず貼りつけて使用してください。
- やけどや低温やけどをまねく原因になります。

粘着パッドは温熱導子電極に正確に貼りつけてください。
- やけどの原因になります。



温熱パッドを人以外のものに貼りつけた後で、使用しないでください。
- 低温やけどの原因になります。

粘着パッドの表面が欠けていたり、くずれている状態で使用しないでください。
- 事故やトラブル、故障の原因になります。



⚠警告

温熱導子コードの取り扱いについて

温熱パッドを強く曲げたり、導子コードを引っぱらないでください。また、パッドを水洗いしないでください。
- 感電や事故の原因になります。



温熱導子コードが傷んでいるとき(温熱導子電極の割れ・はがれ、コードの断線やプラグの破損等)は使用しないでください。オムロンお客様サービスセンターへ別売品をお求めください(→裏表紙)
- 温熱導子の異常加熱の原因になります。
- 感電、ショート、発火の原因になります。



ACアダプタの取り扱いについて

破損したACアダプタは使用しないでください。
- 感電やショート、発火の原因になります。



ぬれた手でACアダプタをコンセントから抜き差ししないでください。
- 感電やけがをする原因になります。



⚠注意

使用にあたって

体の異常や肌に湿疹、発赤、かゆみなどの異常を感じた場合、すぐに使用を中止してください。
- 医師に相談して指示に従ってください。

動かなくなったり異常がある場合は、事故防止のため、すぐに使用を停止して、オムロンお客様サービスセンターへ修理の依頼をしてください。
- 加熱、ショートなどによる事故、トラブル、故障につながる原因となります。

ぬれた手で温熱導子コードの抜き差しや温熱パッドの装着をしないでください。
- 感電や事故の原因になります。

温熱導子コードと本体が正しく確実に接続されていることを確認してからご使用ください。
- 感電や事故、故障の原因となります。



低周波治療をする場合は、次のことを守ってください。
■治療時間は60分以内で使用してください。
■弱い刺激から始めて、ご自身の心地よい程度の刺激で使用してください。
- 筋肉疲労、強い痛みをまねくことがあります。

免責事項／安全上のご注意（つづき）

⚠注意

使用にあたって

電子機器（時計や歩数計など）を装着したまま治療をしないでください。 • 時刻や数値がずれる場合があります。	
ストーブなどの熱器具の近くや電気毛布、ホットカーペットの上、こたつの中などで使用しないでください。 • やけどや火災、故障の原因になります。	
お子様には使用させず、機器本体および温熱パッドの上で、遊ばせないでください。また、上に乗らせないでください。 • 事故やけが、体調不良、故障の原因になります。	
浴室などの湿度の高いところや、入浴しながらの使用はしないでください。また、温熱パッドを水につけたり、水をかけたりしないでください。 • 強いショックを受けます。 • 温熱導子電極の異常加熱の原因になります。	
温熱低周波治療器の近くで携帯電話やスマートフォンを使わないでください。 • 誤動作する恐れがあります。	

温熱パッド・粘着パッドの取り扱いについて

温熱パッドを貼るときは、温熱導子コードが首に絡まらないように注意して使用してください。 • 事故やけがをする恐れがあります。	
治療の途中で他の部位に温熱パッドを貼りかえる場合、必ず電源を切ってから貼りかえてください。 • 強いショックを受ける恐れがあります。	
温熱パッドは正しく装着してください。 • 事故や体調不良を起こす恐れがあります。	
治療中、他の人に温熱パッドを貼りかえたりしないでください。 • 強いショックを受ける恐れがあります。	
温熱パッドを患部に貼りつけたまま放置しないでください。 • 皮膚の炎症などを起こす恐れがあります。	
温熱パッドにベルトやネックレスなどの金属が触れた状態で使用しないでください。 • 強いショックを受けることがあります。	

⚠注意

温熱導子コードの取り扱いについて

温熱導子コードを本体から外すときは、導子コードを持たずに必ず温熱導子コードのプラグを持って抜いてください。
- 感電や事故、故障の原因となります。



ACアダプタの取り扱いについて

ACアダプタは、しっかり根元まで差し込んでください。
- 感電・ショート・発火の原因になります。



ACアダプタが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しないでください。オムロンお客様サービスセンターへ修理の依頼をしてください。（→ 裏表紙）
- 感電・ショート・発火の原因になります。



お手入れの際は必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。
- 感電やけがをする原因になります。



コンセントや配線器具の定格を守ってください。
- 火災、感電の原因になります。

ACアダプタをコンセントから抜くときは、コードを持たずに必ずACアダプタを手で持って抜いてください。
- 感電・ショートにより発火を起こし、故障する原因になります。



ACアダプタのコンセント差し込み側にピンやごみ、水・液体を付着させたり、ぬれた手で触れたりしないでください。
- 感電・ショート・発火の原因になります。



充電池・充電について

1週間以上充電したまま放置しないでください。
- 電池劣化や感電、漏電火災の原因になります。



免責事項／安全上のご注意（つづき）

リチウムイオン電池の取り扱いについて

⚠危険

充電池を廃棄する場合は、次のことを守ってください。
■本製品専用の充電式電池です。この製品以外に使用しないでください。
■取り出した充電池は充電しないでください。
■火への投入、加熱をしないでください。
■くぎで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
■⊕と⊖を金属などで接触させないでください。
■ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
■火のそばや炎天下など高温の場所に放置しないでください。
• 発熱・発火・破裂の原因になります。



⚠警告

取り出した充電池は乳幼児の手の届くところ、またペットが触れるところに置かないでください。
• けが、事故などの原因になります。
• ペットの尿などの液体が入ると火災や事故の原因になります。



お 願 い

ボタン・タイマー（約30分後に自動で停止）が正常に作動するかを確認してからご使用ください。

初めてご使用いただくとき、しばらく使用しなかった機器をご使用いただくときには、取扱説明書のとおり操作を行い、正常に作動することを確認してください。

発汗をおさえるデオドラントシートやスプレーを使用した部位に温熱パッドを貼りつけないでください。
• 温熱パッドの粘着力が低下することがあります。

本製品を廃棄するときは、お住まいの市区町村の指導に従ってください。
• 環境汚染の原因になります。

次のような場所で使用したり、保管したりしないでください。
• 直射日光が当たる場所
• 水のかかる場所
• 火気の近く
• 強電磁界下
• 高温多湿の場所
• ほこりの多い場所
• 振動衝撃の加わりやすい場所

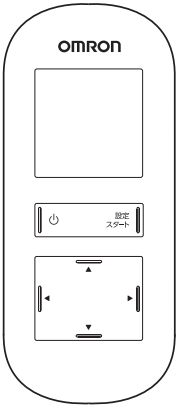
温熱パッドを放置したり汚れが付着したものと一緒に保管しないでください。
• 温熱パッドが汚れて、粘着力が低下します。

製品の構成

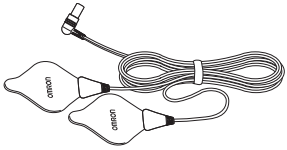
箱の中には次のものが入っています。
万一、不足のものがありましたら、オムロンお客様サービスセンターまでご連絡ください。（→ 裏表紙）

① 本体

・ 本製品は充電池内蔵式モデルです。充電池は交換することができません。



② 温熱導子コード



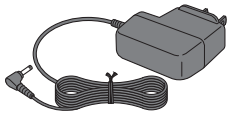
③ 粘着パッド※（1組2枚入り）



※ 消耗部品です。

④ 専用ACアダプタ（充電用）

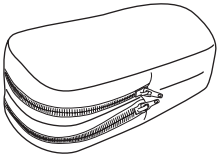
・ 充電専用のACアダプタです。充電中は本体を使用することができません。



⑤ 温熱導子収納具



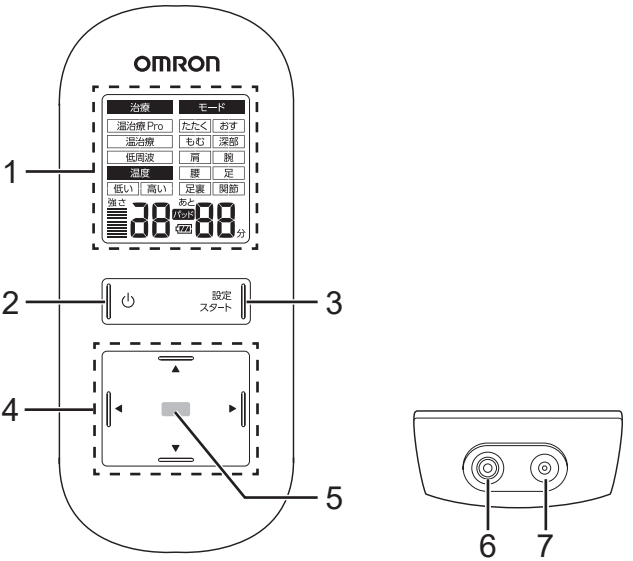
⑥ 収納ケース



⑦ 取扱説明書
（本書：品質保証書付き）

各部の名前と働き

■ 本体



1. 表示画面（→ 13ページ）
2. ［⏻］（電源）ボタン　：電源を入/切する
3. ［設定/スタート］ボタン　：治療を設定/開始する
4. ［▲］［▼］［◀］［▶］ボタン　：コース、モード、強さ、温度を選択する
5. 温熱通知ランプ　：温熱治療時に点灯（→ 24ページ）
6. 温熱導子コードプラグ差込口
7. ACアダプタプラグ差込口

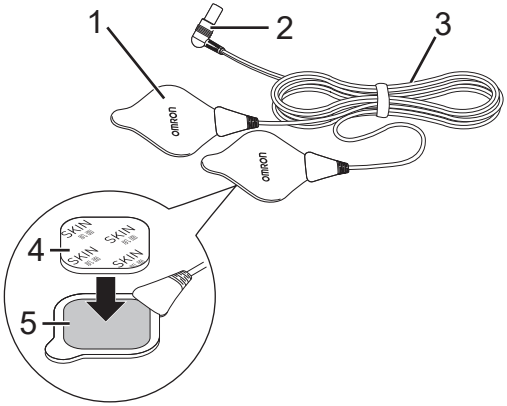
■ 表示画面

治療 温治療Pro 温治療 低周波 治療コースを表示（→ 22、23、26ページ）	強さ 20 低周波の強さ（0 ～ 20）を数字とレベルバーで表示（→ 22、25、27ページ）
温度 低い　高い 温度調節の切り替えを表示（→ 22、23ページ）	あと 30 分 治療の残り時間（1 ～ 30）を表示
モード たたく　おす もむ　深部 肩　腕 腰　足 足裏　関節 低周波治療のモードを表示（→ 22、24、26ページ）	電池マーク（→ 15 ページ）
	パッド パッドマーク（→ 23、39 ページ）

■ 温熱導子コード

1. 温熱パッド
2. 温熱導子コードプラグ
3. 導子コード

4. 粘着パッド
   （→ 17ページ）
5. 温熱導子電極

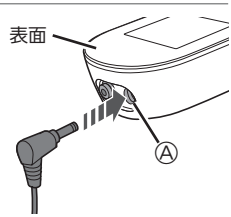


充電をする

使いはじめ（購入直後やしばらく使用しなかったとき）や使用中に電池残量がなくなったときは、必ず満充電になるまで充電してください。
6カ月以上本体を使用されていない場合、必ず使用前に充電をしてください。

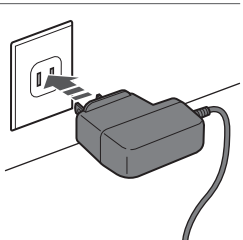
重要
本製品は、ACアダプタに接続したまま使用することができません。充電後、ACアダプタを取り外してから治療を行ってください。
- **5 ℃～ 35 ℃の温度範囲内で充電をしてください。極端な温度環境下においての充電は、正しく充電されない場合があります。**

1 ACアダプタのプラグを、右図イラストのプラグ差込口Ⓐに接続する



- 接続の際はプラグを持って、奥までしっかり差し込んでください。

2 コンセントにACアダプタを差し込む



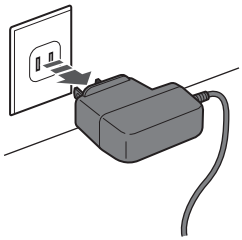
- 充電を開始すると、電池マークが表示画面上に表示され、下記のように点灯し続けます。



- 充電が完了すると、満充電の電池マーク（ ）が表示され、30秒後に表示画面がオフになります。
- 表示画面がオフの状態のとき、［⏻］ボタンを押すと電池マークが表示されます。

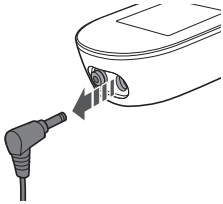
3 充電が終わったら、コンセントからACアダプタを抜く

- 充電中は本体を使用することができません。
  必ずACアダプタを抜いてください。



4 本体からACアダプタのプラグを抜く

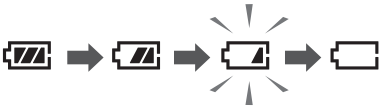
- 本体からプラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。



お知らせ

■ 電池残量表示について

電池残量が少なくなるに従って表示が下記のように変わります。



- 電池マーク（▭）が表示されたときは使用できません。充電をしてください。
- 電池マーク（▭）が表示されたときは、充電をお勧めします。

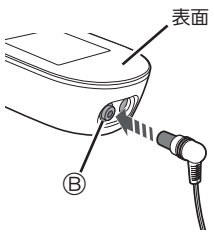
■ 充電について

- 6カ月以上電池残量がない状態で保管すると、電池の性能や寿命を低下させる原因となります。
  電池残量がなくなったときは、速やかに充電をしてください。
- 充電を繰り返すと、満充電時に使用できる時間が少しずつ短くなります。
  満充電後にすぐに電池残量がなくなる場合は電池の寿命ですが、電池の交換はできません。
  「製品を廃棄するとき」（→ 33ページ）の手順に従って廃棄してください。

温熱導子コードを接続する

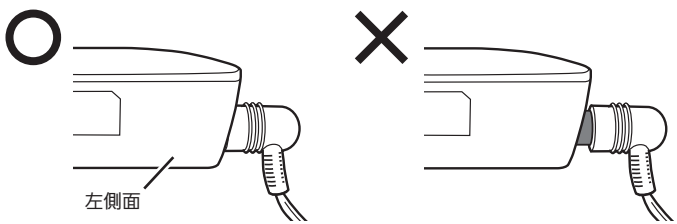
1 電源が切れていることを確認する

2 温熱導子コードプラグを、右図イラストのプラグ差込口Ⓑに接続する



- 以下の点に注意して、奥までしっかり差し込んでください。正しく接続しないと、表示画面上に「E1」または「パッド」マークが表示されることがあります。

□ プラグを持って差し込む。
□ 左側面（下図のように、向かって右側にプラグが見える方の側面）から見たときに、プラグの黒い部分が見えなくなっている。



お知らせ

■ 温熱導子コードについて

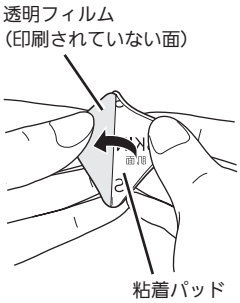
- 温熱導子電極の割れ・はがれ、コードの断線やプラグの破損などで、温熱導子コードが故障した場合、別売品をお買い求めください。
（→ 43ページ）

粘着パッドを貼る

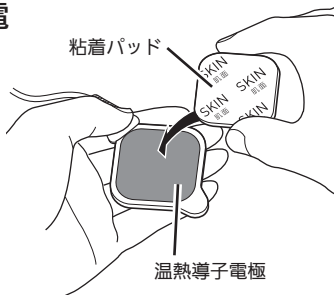
必ず粘着パッド（2枚）を温熱導子電極に貼り付けてください。

1 粘着パッド（2枚）を透明の袋から取り出す

2 粘着パッドの片面の透明フィルム（印刷されていない面）をはがす



3 はがした粘着パッドを温熱導子電極に貼る



温熱パッドを貼る

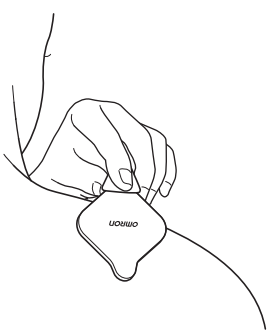
必ず2枚貼り付けてください。2枚とも貼り付けていないと使用できません。

1 透明フィルム（“SKIN/肌面”と印刷された面）をはがす



2 温熱パッド（2枚）を治療したい部位に貼る

- 温熱パッドは肌に密着させて貼ってください。



お知らせ

■ 温熱パッドを貼るとき

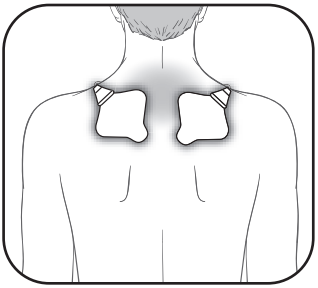
- 温熱パッドは、極端に折り曲げないでください。
- 重ならないように貼ってください。
- 粘着面はなるべく指で触らないようにしてください。
- 治療したい部位が汚れている場合は、拭き取ってからご使用ください。
- お風呂上がりや運動直後などの発汗時は、汗がひいた後に治療したい部位の汗を拭き取ってからご使用ください。
- 衣服などに温熱パッドが誤って貼りついてはがれないときは、無理にはがさず、温熱パッドの貼りついた衣服の裏側からわずかな水で湿らせると、簡単にはがれます。
- 粘着力が落ちてきたらお手入れしてください。（→ 31ページ）

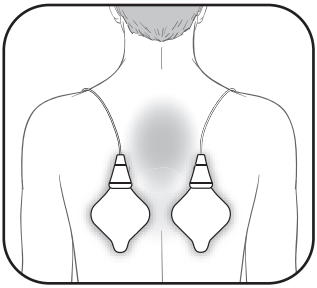
温熱パッドを体の部位に貼る

貼りつけ例
肩

肩こりの原因は、肩を動かす筋肉などに起こるうっ血や疲労物質がたまることにより神経を圧迫したり、筋肉などの皮下組織の血行を悪化させるためと考えられています。

背骨を中心に肩こりのある部位に左右対称に貼りつけてください。

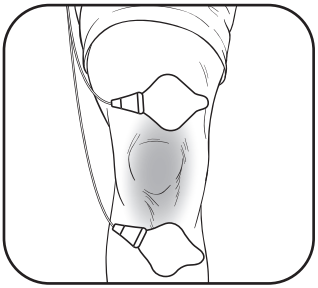


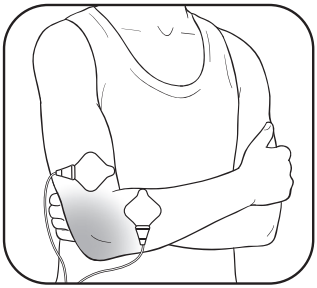


貼りつけ例
関節

過度な運動などで負担がかかり、関節が痛くなることがあります。

痛みのある関節を挟むようにして貼りつけてください。



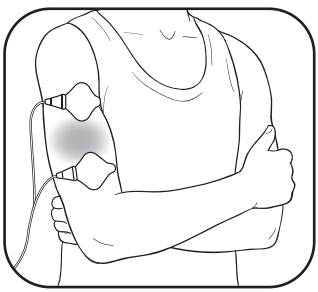


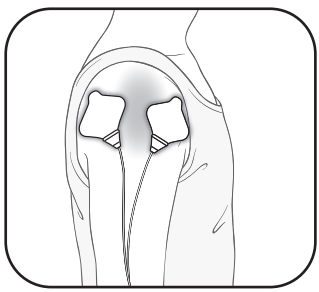
温熱パッドを体の部位に貼る

貼りつけ例
腕

腕の疲れは、その部位の筋肉群に起こるうっ血や疲労物質がたまり、血行が悪くなることが原因と考えられています。

腕の上下または前後に貼りつけてください。

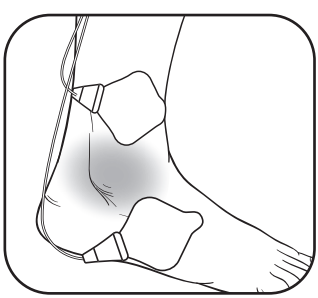




貼りつけ例
足裏

冷えは神経のバランスが崩れることにより、手足の血行が悪くなることが原因と考えられています。
むくみや足の倦怠感は、血液や体液の還流が悪くなることが原因と考えられています。

一方は、足裏に貼りつけ、もう一方はふくらはぎまたは足首に貼りつけてください。
※両足の同時治療は行わないでください。



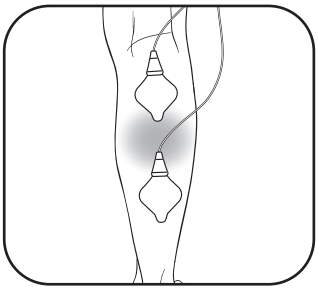


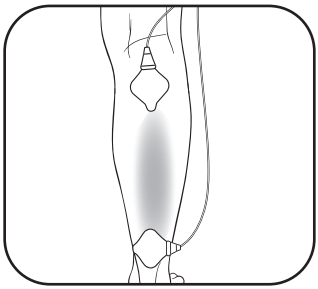
温熱パッドを体の部位に貼る

貼りつけ例
足

ふくらはぎのむくみや疲れは、その部位の筋肉群に起こるうっ血や疲労物質がたまることが原因と考えられています。

ふくらはぎの上下に貼りつけてください。
※両足の同時治療は行わないでください。

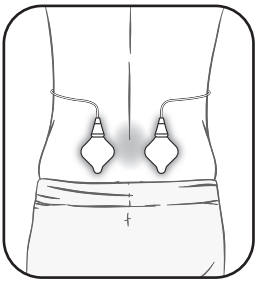


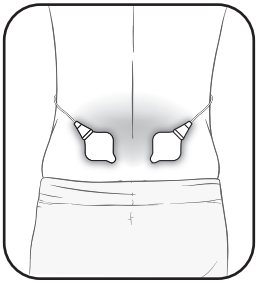


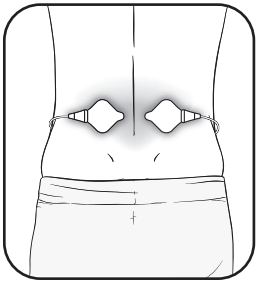
貼りつけ例
腰

腰痛の原因はたくさんあります。そのうち低周波での治療に適しているのは、腰のこりや筋肉痛・神経痛などがあると考えられています。

背骨を中心に痛みのある部位に左右対称に貼りつけてください。







治療内容について

■ 治療コース

3つの治療コースから選びます

温治療Pro （15分じっくり温熱、15分低周波治療）	**温治療** （温熱と低周波の交互治療）	**低周波** （30分低周波治療）
じっくり温めてから低周波で刺激。こりや痛みがひどいときにおすすめです。	温熱と低周波の刺激で交互に治療。心地よく患部を刺激します。	低周波でじっくり治療。定期的な体のケアにおすすめです。
温熱治療 → 低周波治療	温熱 → 低周波 → 温熱 → 低周波	低周波治療

■ 低周波モード

10モードから選びます

もみ方	**部位**	**こだわり**
たたく、おす、もむ	肩、腕、腰、足、足裏、関節	深部 （痛みをともなう関節や腰、肩などにお悩みの方におすすめです。）

■ 温度の設定

2つの温度調節（「高い」と「低い」）から選びます。

• 温熱コースを選択した場合のみ設定できます。



■ 低周波治療の「強さ」を設定

強さ（1 ～ 20）を選びます。

お好みの強さに調節してください。



「温治療Pro」／「温治療」コースを使う

重要

「パッド」マークが点滅したら、30秒後に自動的に電源が切れます。



- 温熱パッドが肌に貼り付いていないか、導子コードが抜けています。
- 16ページからやり直してください。

1 ［⏻］ボタンを押して電源を入れる

- 表示画面が全点灯した後、治療コースの項目が表示されます。

※ 充電中は、［⏻］ボタンを押しても電源は入りません。ACアダプタを本体から抜いて、ご使用ください。（→ 15ページ）

2 ［▲］［▼］ボタンを押して「温治療Pro」または「温治療」を選び、［設定／スタート］ボタンを押す

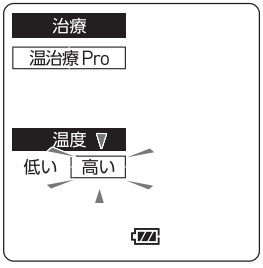
- 表示画面上にカーソルが点滅します。
- ［設定／スタート］ボタンを押した後、選択したコースが表示されます。



例：「温治療 Pro」を選ぶ場合

3 ［▲］［▼］［◀］［▶］ボタンを押して“温度”の「高い」または「低い」を選び、［設定／スタート］ボタンを押す

- 表示画面上にカーソルが点滅します。
- ［設定／スタート］ボタンを押した後、選択した温度が表示されます。



例：「高い」を選ぶ場合

「温治療Pro」／「温治療」コースを使う（つづき）

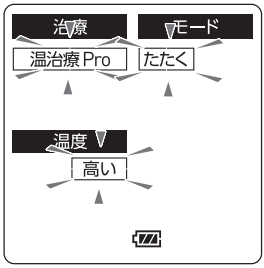
4 ［▲］［▼］［◀］［▶］ボタンを押して、低周波治療のモードを選び、［設定／スタート］ボタンを押す

- 表示画面上にカーソルが点滅します。



例：「たたく」を選ぶ場合

［設定／スタート］ボタンを押した後、選択した治療内容のカーソルが同時に点滅します



5 ［設定／スタート］ボタンを押して、治療を開始する

- 操作ボタン上に温熱通知ランプが点灯し、温熱治療中をお知らせします。



※ 温熱治療中は、低周波モードと強さの変更はできません。

※ 設定した温度を変更したい場合、**“治療中に設定内容を変更する”**を参照してください。（→ 28ページ）



例：「温治療 Pro」を選んだ場合

低周波モードに切り替わったら、お好みの強さに調節してください

- 低周波の強さは「3」に設定されてます。

※ 実際の治療の強さは「0」から「3」まで徐々に上昇します。



例：強さ 8 に調節した場合

①［▲］［▼］［◀］［▶］ボタンを押して、強さの設定を変更する

- 強さを上げる場合、［▲］または［▶］ボタンを押す。
- 強さを下げる場合、［▼］または［◀］ボタンを押す。

設定した治療内容を変更したい場合、**“治療中に設定内容を変更する”**を参照してください。（→ 28ページ）

6 治療を終了する

- ［⏻］ボタンを押すと電源が切れます。
- 治療開始から30分後に、自動的に電源が切れます。

「低周波」コースを使う

1 ［⏻］ボタンを押して電源を入れる

- 表示画面が全点灯した後、治療モードの項目が表示されます。

※ 充電中は、［⏻］ボタンを押しても電源は入りません。ACアダプタを本体から抜いて、ご使用ください。（→ 15ページ）

2 ［▲］［▼］ボタンを押して「低周波」を選び、［設定／スタート］ボタンを押す

- 表示画面上にカーソルが点滅します。
- ［設定／スタート］ボタンを押した後、選択したコースが表示されます。



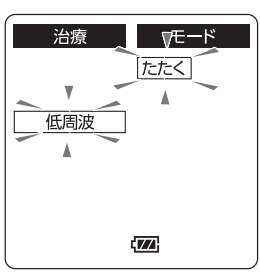
3 ［▲］［▼］［◀］［▶］ボタンを押して、低周波治療のモードを選び、［設定／スタート］ボタンを押す

- 表示画面上にカーソルが点滅します。



例：「たたく」を選ぶ場合

［設定／スタート］ボタンを押した後、選択した治療内容のカーソルが同時に点滅します



4 [設定／スタート] ボタンを押して、治療を開始する

- 低周波の強さは「3」に設定されてます。

※ 実際の治療の強さは「0」から「3」まで徐々に上昇します。



低周波治療が開始されたら、お好みの強さに調節してください

①［▲］［▼］［◀］［▶］ボタンを押して、強さの設定を変更する

- 強さを上げる場合、［▲］または［▶］ボタンを押す。
- 強さを下げる場合、［▼］または［◀］ボタンを押す。



例：強さ 8 に調節した場合

設定した治療内容を変更したい場合、**“治療中に設定内容を変更する”** を参照してください。（→ 28ページ）

5 治療を終了する

- ［⏻］ボタンを押すと電源が切れます。
- 治療開始から30分後に、自動的に電源が切れます。

治療中に設定内容を変更する

■ “温度” を変更したいとき

温熱治療中のみ変更できます。

① [▲] [▼] [◀] [▶] ボタンを押して、
温度の設定を変更する

- 「高い」から「低い」に変更する場合、[◀] または [▼] ボタンを押す。
- 「低い」から「高い」に変更する場合、[▶] または [▲] ボタンを押す。

■ “低周波治療のモード” を変更したいとき

低周波治療中のみ変更できます。

① [設定／スタート] ボタンを押す

② [▲] [▼] [◀] [▶] ボタンで低周波治療のモードを選ぶ

③ [設定／スタート] ボタンを押して、治療を再開する

- 低周波の強さは「3」にリセットされます。

※ 実際の治療の強さは「0」から「3」まで徐々に上昇します。

■ “低周波の強さ” を変更したいとき

低周波治療中のみ変更できます。

① [▲] [▼] [◀] [▶] ボタンを押して、
強さの設定を変更する

- 強さを上げる場合、[▲] または [▶] ボタンを押す。
- 強さを下げる場合、[▼] または [◀] ボタンを押す。

■ “治療コース” の変更に関して

治療中に “治療コース” を変更することはできません。
一度電源を切り、最初からやり直してください。

- 「温治療Pro」/「温治療」コースを使う（→ 23ページ）
- 「低周波」コースを使う（→ 26ページ）
- 2回目以降の設定は、前回設定された項目上にカーソルが点滅します。
- 低周波の強さは「3」にリセットされます。

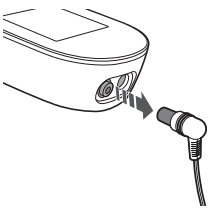
※ 実際の治療の強さは「0」から「3」まで徐々に上昇します。

片付ける

温熱パッドをそのまま放置しておくと、汚れたり粘着力が落ちたりします。
治療が終わったら、温熱導子収納具に貼りつけ収納してください。

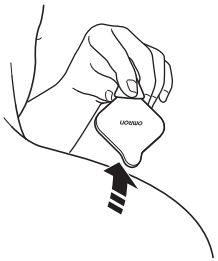
1 電源を切り、温熱導子コードプラグを本体から外す

- 本体からプラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。



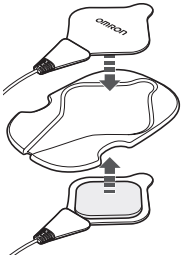
2 温熱パッドをはがす

- 粘着面に触らないようにしてください。



3 温熱パッドを温熱導子収納具に軽く貼りつける

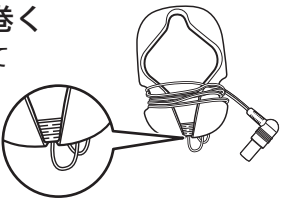
- 温熱パッドを強く押しつけないでください。粘着面がいたむ原因になります。
- 温熱パッドや導子コードの接続部分を強く引っぱらないでください。
- 温熱パッドは強く曲げたりしないでていねいに扱ってください。
- 温熱導子収納具は清潔に保ってください。



片付ける（つづき）

4 導子コードを束ねて、導子収納具に巻く

- コードはゆとりをもたせてゆるめに巻いてください。

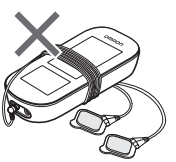


5 本体・温熱導子収納具・ACアダプタを汚れないように収納ケースに保管する

お知らせ

■ 本体を保管するとき

導子コードを本体に巻きつけないでください。



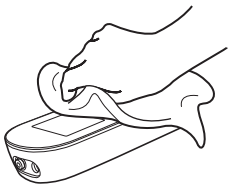
- 差し込みプラグ付近で導子コードがきつく曲がり、断線の原因になります。

お手入れと保管

■ お手入れのしかた

いつも清潔にしてお使いください。

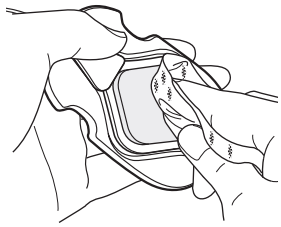
- 電源を切り、必ず温熱導子コードとACアダプタを本体から抜いて、お手入れしてください。
- 本体の汚れは乾いたやわらかい布で拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、水または中性洗剤をしみこませた布で、よく絞ってから拭き取り、やわらかい布でから拭きしてください。



※本体内部に水などが入らないようにしてください。

■ 温熱パッドのお手入れについて

温熱パッドの粘着面が汚れて貼りつきにくくなったら、水をしみこませた布で粘着面を湿らせて汚れを拭き取ると、一時的に粘着力を回復させることができます。ただし、水分を与えすぎると粘着力が弱くなります。



※温熱導子電極には水をつけないようにしてください。
※温熱パッドを水洗いしないでください。
（感電や事故の原因になります。）

- 交換の目安
  個人差がありますが、約30回を目安に交換してください。
  粘着パッドは消耗部品です。粘着面がいたんだときは使用を中止し、別売品をお求めください。（→ 43ページ）
- 交換用粘着パッドは、高温多湿、直射日光のあたる場所には置かないでください。

お手入れと保管（つづき）

■ 保管のしかた

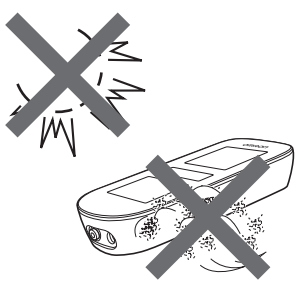
次の条件を満たしている環境下で保管してください。

- 温度：0 ℃ ～+40 ℃
- 湿度：30 % RH ～ 85 % RH（結露無きこと）

■ お手入れと保管の注意



- 汚れを落とすとき、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。
- 温熱パッドの扱いに注意してお手入れしてください。
  - 曲げない。
  - 強い力をかけたり、引っぱらない。
  - 水をかけない。



- 次のようなところに保管しないでください。
  - 水のかかるところ。
  - 高温・多湿、直射日光、ほこり、塩分などを含んだ空気の影響を受けるところ。
  - 傾斜、振動、衝撃のあるところ。
  - 化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生するところ。
- 乳幼児の手の届かないところに置いてください。

※上記の注意事項、その他の正しい使用方法をお守りいただけない場合は、品質に責任を負いかねます。

製品を廃棄するとき

本製品はリチウムイオン電池（充電池）を使用しています。
本体に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。

Li-ion 01

■ お願い

- 電池を使い切ってください。
- 必ず、お住まいの市町村が定めた方法をご確認の上、廃棄してください。電池を取り出して廃棄する必要がある場合は、下記の手順に従って取り出してください。

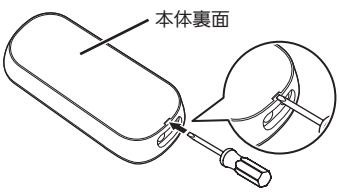
■ 電池の取り出し方

重要
製品を廃棄するための手順であり、修理用・電池交換の手順ではありません。
分解した場合、修復は不可能です。

- 必ず本体からプラグ（温熱導子コード・ACアダプタ）を取り外して分解してください。
- 電池マーク（▭）が表示されるまで電池を使い切り、電源ボタンを押しても画面に何も表示されないことを確認してください。
- 本体を分解するときは、部品の角などで、けがをしないように注意してください。

1 本体裏面のカバーを外す

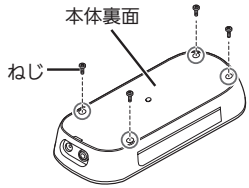
- マイナスドライバーなど先端の平たいものを、本体裏面の差込口に差して、裏面のカバーをこじ開けます。



重要
本体裏面のカバーをこじ開けるときは、けがをしないようにご注意ください。

製品を廃棄するとき（つづき）

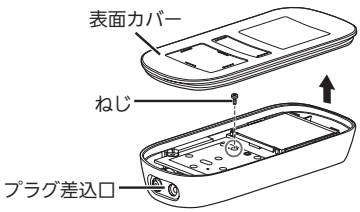
2 本体裏面に取り付けられている
4本のねじを取り外す



3 本体を表面に返す

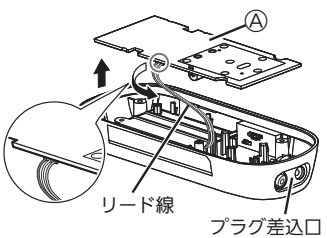
① 表面のカバーを取る

② 本体内に取り付けられている
1本のねじを取り外す



4 基板Ⓐを本体から取り出し、
リード線のコネクタを
基板Ⓐから外す

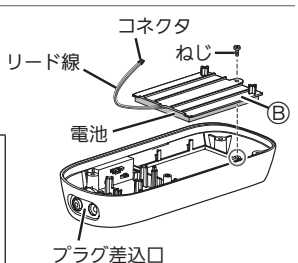
- リード線のコネクタをひねるようにして、外してください。



重要
リード線はハサミ等で切断しないでください。
ショートにより、火災の原因になります。

5 ねじを取り外し、Ⓑを取り出す

- Ⓑに電池が接着されています。電池は取り外さないでください。



重要
使用済みの電池は、リード線の先端（コネクタ）をセロハンテープで覆い絶縁してください。

豆知識

低周波治療とは

■生理作用をうまく利用する治療方法

自分自身は気づきませんが、脳や心臓、筋肉や神経など、私たちの体はいかなるところからもごく弱い電気を発生しています。これを「生体電気」といい、体が正常に機能していくうえで欠かせない役目を果たしています。私たちの体は、外部から加えられた電気的な刺激にも敏感に反応し、いろいろ変化を起こす性質があります。人間の体がもともともっているこのような作用を上手に利用して、生体電気の異常すなわち体の異常となってあらわれるこりや痛みなどの治療を行おうとすることが電気治療で、その中の代表的なひとつが低周波の治療法です。

低周波治療のしくみ

■筋肉のポンプ作用

低周波電流により筋肉が収縮弛緩し、筋肉のポンプ作用が働きます。弛緩したときには、血液がどっと送り込まれ、次に収縮すると老廃物を含む血液が送り出されます。この働きが繰り返されると、血液の流れが良くなり、血行が促進されます。



■痛みをやわらげる

痛みのある部位に低周波電流を流すと、痛みを伝達する機能に作用し、脳に痛みの感覚を伝えにくくし、痛みをやわらげるといわれています。

豆知識（つづき）

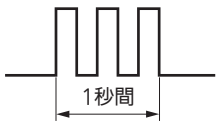
周波数による作用の違い

■周波数とは

体に対して1秒間に電気刺激を加える回数のことで、ヘルツ（Hz）という単位で表されます。

■低い周波数の効果

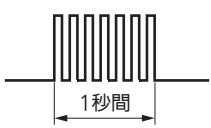
慢性痛やこり・しびれの症状に有効で、痛みの抑制物質を分泌させたり、血行を促進する効果があるとされています。



1秒に3回の刺激=3 Hz

■高い周波数の効果

急性痛に有効で、低い周波数に比べ痛みの伝達を即効的に遮断する効果に優れているとされています。



1秒に100回の刺激=100 Hz

治療時間の目安

低周波治療をする場合、弱い刺激から始め、ご自身の心地よい程度の刺激で使用してください。治療時間は60分以内の治療を目安にすることをお勧めします。長い治療時間や強い刺激は筋肉疲労をまねき、逆効果になります。個人差はありますが、長時間でのご使用や強い刺激で長時間ご使用するのは避けてください。

温熱治療とは

■血管の伸縮と温度の関係

血液は、心臓から大動脈を通って毛細血管に入り、全身の細胞に酸素と栄養を供給し、さらに老廃物を運び去るという重要な作業を行っています。この人間の生命をつかさどる大切な血液の循環系を形づくっているのが血管です。
人間の体は、急激な運動をしたときなどは酸素や栄養素を十分に供給するために、心臓の動きが早くなり、血管を大きく拡張させ、大量の血液を運びます。そして必要がなくなると収縮して、適当な血液の量に調整します。
この血管の伸縮は、自律神経やホルモンの働きによっても左右されますが、体の外からの温度や圧力に大きく影響されます。
特に心臓から遠い末端の血管は、温度の刺激により柔軟に拡張し収縮します。

■血行をよくして疲労回復

例えば、温泉に入り、ぬるいお風呂にゆっくりつかると、体の芯まで温まり、疲れがとれやすくなることはよく知られています。
温熱治療とは、体の外側から血管を拡張する刺激（温熱刺激）を与え、血液の流れをよくする治療法です。
温熱治療の効能・効果には次のようなものがあるといわれています。

1. 血行をよくする
2. 疲労の回復
3. 神経痛・筋肉痛の痛みの緩解
4. 筋肉のこりをほぐす
5. 筋肉の疲れをとる

血管の拡張
↓
血液の流れが良くなる
↓
新陳代謝が活発になる
↓
疲労回復を早める

■温熱治療時間の目安

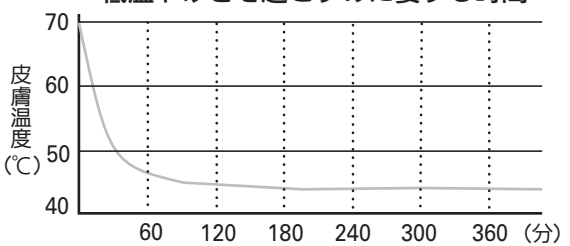
過度の治療を防ぎ、低温やけどを防ぐため、同一カ所で30分以上の治療はしないでください。

豆知識（つづき）

低温やけどについて

比較的低い温度でも、長時間接触すると、やけどと同様の症状を起こす場合があります。一般的に、44 ℃が低温やけどを起こす最低温度といわれており、44 ℃ ～ 51 ℃の間では温度と時間とは反比例の関係にあります。
また、温度の高いものを押しつけたり、熱がこもるようにすると低温やけどを起こしやすくなります。この場合、44 ℃以下の温度でも低温やけどを起こす場合がありますので十分ご注意ください。

低温やけどを起こすのに要する時間



おかしいな？と思ったら

こんなとき	原 因	対処のしかた
電源が入らない	電池残量がない	充電してください（→ 14ページ）
	ACアダプタが本体に接続されている	ACアダプタを本体から抜いてください（→ 15ページ）
充電されない	ACアダプタのプラグが本体に正しく接続されていない	正しく接続してください（→ 14ページ）
	ACアダプタが家庭用コンセントに正しく接続されていない	
	充電時の温度範囲外の環境で充電を行っている	充電時は、+5 ～ +35℃の温度範囲内で充電をしてください（→ 14ページ）
表示画面上に「パッド」マークだけが表示される	温熱パッドを肌に貼りつけていない、または温熱パッドが肌からはがれている	温熱パッドが2枚とも肌に貼りついていないと30秒後、自動的に電源が切れます 肌に貼りつけてください（→ 18ページ）
	導子コードが断線している	温熱導子コードを交換してください（→ 43ページ）
	温熱導子コードを正しく接続していない	正しく接続してください（→ 16ページ）
使用中に電源が切れる	温熱パッドを肌に貼りつけていない、または温熱パッドが肌からはがれている	温熱パッドが2枚とも肌に貼りついていないと30秒後、自動的に電源が切れます 肌に貼りつけてください（→ 18ページ）
	3分で自動的に電源が切れる	設定中に操作しない状態が3分続くと、自動的に電源が切れます
	導子コードが断線している	温熱導子コードを交換してください（→ 43ページ）
	電池残量がない	充電してください（→ 14ページ）
温熱パッドが肌に貼りつかない	温熱導子電極に粘着パッドを貼っていない	温熱導子電極に粘着パッドを貼ってください（→ 17ページ）
	粘着パッドの透明フィルムをはがしていない	粘着面の透明フィルムをはがしてください（→ 17ページ）

おかしいな？と思ったら（つづき）

こんなとき	原 因	対処のしかた
温熱パッドが肌に貼りつかない	温熱パッドの粘着面が汚れている	水をしみこませた布で表面を拭いてください（→ 31ページ）
	温熱パッドの粘着面がいたんでいる	粘着パッドは消耗部品です 粘着面がいたんだときは使用を中止し、別売品をお求めください （→ 43ページ）
	温熱パッドの粘着面に汗や水分が多くついた	粘着パッドは消耗部品です 粘着面がいたんだときは使用を中止し、別売品をお求めください （→ 43ページ）
刺激を感じない 刺激が弱い	温熱パッドが肌に密着していない	肌に密着させてください （→ 18ページ）
	温熱パッドを重ねて貼っている	重ならないように貼ってください （→ 18ページ）
	粘着パッドの透明フィルムをはがしていない	粘着面の透明フィルムをはがしてください（→ 17ページ）
	温熱パッドの粘着面が汚れている	水をしみこませた布で表面を拭いてください（→ 31ページ）
	温熱導子コードを正しく接続していない	正しく接続してください （→ 16ページ）
	強さ調節が弱くなっている	強さを調節してください （→ 25、27ページ）
	電池残量が少ない	電池を充電してください （→ 14ページ）
	温熱パッドの粘着面がいたんでいる	粘着パッドは消耗部品です 粘着面がいたんだときは使用を中止し、別売品をお求めください （→ 43ページ）
肌が赤くなる 肌がチクチクする	治療時間が長すぎる	30分以内にしてください
	温熱パッドが肌に密着していない	肌に密着させてください （→ 18ページ）
	温熱パッドの粘着面が汚れたり、乾いたりしている	水をしみこませた布で表面を拭いてください（→ 31ページ）
	温熱パッドの粘着面がいたんでいる	粘着パッドは消耗部品です 粘着面がいたんだときは使用を中止し、別売品をお求めください （→ 43ページ）

こんなとき	原 因	対処のしかた
温熱パッドがあたたまらない	温熱導子コードを正しく接続していない	正しく接続してください (→ 16ページ)
	導子コードが断線、ショートしている	すぐに使用を停止し、温熱導子コードを交換してください (→ 43ページ)
温熱パッドが熱すぎる 温熱パッドから焦げたにおいがする	導子コードがショートしている	すぐに使用を停止し、温熱導子コードを交換してください (→ 43ページ)
	粘着パッドが破損している	粘着パッドは消耗部品です 新しいものと交換してください (→ 43ページ)
E 1 「E1」が表示される	温熱導子コードプラグが正しく接続されていない。	正しく接続してください（→ 16ページ） それでも、エラー表示が消えない場合は、温熱導子コードが断線（故障）している可能性があります すぐに使用を停止し、温熱導子コードを交換してください (→ 43ページ)
E 2 「E2」が表示される	温熱導子コードが内部でショートしている	すぐに使用を停止し、温熱導子コードを交換してください (→ 43ページ)
E 3 「E3」が表示される	機器本体に異常が発生している	本体の故障が考えられます すぐに使用を停止し、お客様サービスセンターまで修理をご依頼ください (→ 裏表紙)
E 4 「E4」が表示される	使用温度環境外で使用している	使用温度環境下(+10 〜 +40 ℃)にしばらく置いた後に使用してください しばらく置いても改善しない場合は、本体の故障が考えられます お客様サービスセンターまで修理をご依頼ください (→ 裏表紙)
満充電しても、使用可能時間が短い、動かない	寒い場所でのご使用は、使用可能時間が短くなることがあります。また、本体を繰り返し充電すると、満充電時に使用できる時間が少しずつ短くなります。極端に短くなった場合は充電池の寿命になります。充電池の交換はできませんので、修理をご依頼いただくか(→ 裏表紙)、本体の廃棄をお願いいたします。(→ 33ページ)	

• 上記の方法でも直らない場合は、オムロンお客様サービスセンター（→ 裏表紙）までお問い合わせください。

仕様

販売名	オムロン 温熱低周波治療器 HV-F311	オムロン 温熱低周波治療器 HV-F313	オムロン 温熱低周波治療器 HV-F314
商品型式名	HV-F311/HV-F312	HV-F313	HV-F314
医療機器認証番号	227AGBZX00120000	227AGBZX00120A01	227AGBZX00120A02
類別	機械器具78家庭用電気治療器		
一般的名称	低周波・温熱組合せ家庭用医療機器		
医療機器分類	管理医療機器		
使用目的又は効果	低周波治療器として肩こりの緩解、麻痺した筋肉の萎縮の予防及びマッサージ効果、温熱治療器として電熱による温熱効果。 一般家庭で使用すること。		
専用ACアダプタ（充電用）	定格入力：AC100 V, 50-60 Hz 定格出力：DC6 V 700 mA		
使用電池	DC3.7 V（充電式リチウムポリマー 2次電池）		
充電時間	約5時間	使用可能回数	約4回（満充電の場合）
耐用期間※	約5年　自己認証（当社データ）による		
最大出力電流	10 mA以下	基本周波数	0.7～1200 Hz
定格出力電圧	最大約80 V	最大パルス幅	100 μsec
定格時間	30分		
消費電力	10 W（ヒータ部 7 W含む）		
使用環境条件	+10～+40 ℃ / 30～85 % RH（結露なきこと） ただし、充電時は、+5～+35 ℃		
保管環境条件	0～+40 ℃ / 30～85 % RH（結露なきこと）		
本体質量	約220 g		
本体寸法	縦165×横71×厚さ30.5 mm		
動作原理	■神経・筋肉が低い周波数の電気に反応することを利用して皮膚表面より微弱なパルス電流を流し、その結果起きる生理作用を利用して患部を治療する。 ■温熱パッドに併設されたヒーターであたためることにより患部を治療する。		
IP保護等級	IPX1（温熱導子部）、IP21（専用ACアダプタ）		
付属品	温熱導子コード（1本）、粘着パッド（1組2枚入り）、温熱導子収納具（1個）、専用ACアダプタ（充電用）（1個）、 収納ケース（1個）、取扱説明書（品質保証書付き）（1部）		
製造販売元	オムロン ヘルスケア株式会社 電話：0120-30-6606（オムロンお客様サービスセンター）		
製造元	OMRON（DALIAN）CO., LTD. 中華人民共和国		

お断りなく仕様を変更する場合がありますのでご了承ください。

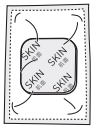
※標準的な使用期間の目安（1日に30分使用 4日に1回充電）

シンボル	シンボルの意味
,	取扱説明書をお読みください
⎓	直流
IPX1 IP21	IP保護等級とは、IEC（国際電気標準会議）60529によって規定された本体による保護構造を等級分類するものです。 IPX1は、垂直に落下してくる水滴に対して、動作の妨げがないように、保護されていることを示します。 IP21は、指などの直径12.5 mm以上の固形物に対して保護されており、垂直に落下してくる水滴に対して動作の妨げがないように保護されていることを示します。
	専用のACアダプタを使用してください

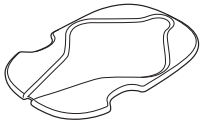
別売品

別売品のお求めは、オムロンお客様サービスセンター（→ 裏表紙）までお問い合わせください。
次の別売品をご用意しています。
※これらの別売品は本製品に付属しているものと同じです。

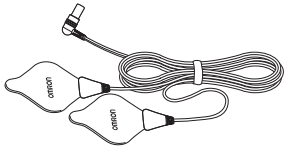
粘着パッド（4組8枚入り）
型式：HV-PAD-3



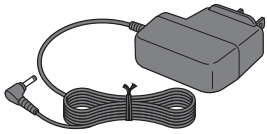
温熱導子収納具
型式：HV-PAD-EHOLD



温熱導子コード
型式：HV-DOUSI-CGY



専用ACアダプタ（充電用）
型式：HHP-AM11



保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で、お買い上げ後1年以内に故障した場合には無償にて修理、また故障内容や製品によっては、交換あるいは他機種との交換をいたします。
2. 無償保証期間内に故障して修理を受ける場合は、オムロンお客様サービスセンターまたはご購入の販売店にご連絡ください。
3. 無償保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
   （イ） 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
   （ロ） お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
   （ハ） 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
   （ニ） 品質保証書の提示がない場合。
   （ホ） 品質保証書にお買い上げ年月日、販売店名の記入のない場合、または販売店で発行されたお買い上げを証明するものがない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   （ヘ） 消耗部品。
   （ト） 故障の原因が本製品以外に起因する場合。
   （チ） その他取扱説明書に記載されていない使用方法による故障および損傷。
4. 品質保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
5. 品質保証書は本規定に明示した期間、条件のもとにおいて無償保証をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
6. 修理対応期間は製造打ち切り後6年となります。

品 質 保 証 書

このたびは、オムロン製品をお買い求めいただきありがとうございました。製品は厳重な検査を行い高品質を確保しております。しかし通常のご使用において万一、不具合が発生しましたときは、保証規定によりお買い上げ後、1年間は無償にて修理、または故障内容や製品によっては、交換あるいは他機種との交換をいたします。

※製品の保証は、日本国内での使用の場合に限ります。
This warranty is valid only in Japan.

※以下のいずれかを必ず行ってください。
・販売店で以下に記入、捺印していただく。
・販売店で発行されたお買い上げを証明するもの（レシートやシールでも可）を本品質保証書に貼付または保管いただく。

商品型式名 **HV-F311/HV-F312/ HV-F313/HV-F314**

お買い上げ店名 ㊞

お買い上げ年月日 年 月 日

製造販売元
オムロン ヘルスケア株式会社
〒617-0002 京都府向日市寺戸町九ノ坪53番地

製品のお問い合わせ、別売品や消耗品のご注文、修理のご依頼は

オムロン ヘルスケア お客様サポート
https://www.healthcare.omron.co.jp/support/

オムロン お客様サービスセンター
TEL 0120-30-6606（通話料無料） FAX 0120-10-1625（通信料無料）
受付時間 9:00～17:00（祝日を除く月～金）
〒515-8503 三重県松阪市久保町1855-370 ※都合により、お休みや受付時間の変更をさせていただく場合があります。

第13版（2026年8月）
9200719-1M